

常中だより

さいたま市立常盤中学校

5月

第366号 平成25年 5月1日
電話(048) 831-3189(代) 831-5054(相談室)
<http://tokiwa-j.saitama-city.ed.jp>

あやま

【続ける勇氣と謝る勇氣】

校長 ^{かのめ} 鹿目賢一

満開の桜の季節が過ぎ、さわやかな新緑の季節を迎えようとしています。

学校は、始業式・入学式から4週目に入り、学習や部活動など、様々な活動が本格的に始まりました。落ちついた雰囲気の中で、新学期をスタートさせることが出来ました。

また、各学年の全体保護者会・学級懇談会には、ご多用の中、大変多くの保護者の皆様においでいただきまして、ありがとうございました。その折に「子どものサインに気づいたら」の手紙の内容をご紹介いたしました。生徒たちの心身ともに健やかな成長のために、保護者の皆様との連携を密にしながら、生徒一人ひとりの心の変化に、丁寧な対応をしていきたいと考えております。ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

さて、入学式の折に生徒に対して、「続ける勇氣」と「謝る勇氣」についてお話しました。

それは、何事も続けてこそ、初めてしっかりと身につけることができます。その上で実力を発揮することができるわけですから「続ける勇氣」を持っていただきたいということ。

もう一つは、「人からされたらいやだな、と自分が思うことは、他人に対して決してしない。」もし、正しくない事を言ってしまったり、人の心を傷つける言葉を言ってしまったことに気づいたら、ためらわずに「謝る勇氣」を持っていただきたい、という話をしました。是非、常中生全員が、この勇氣を持ってほしいと思います。

1年生の部活動も、仮入部からいよいよ本入部となり、本格的な活動となります。自分のために自分で選んだ部活動を、明るく元気に、そして真剣にやり通して、多くの友達を作り、他では得がたい様々な体験を重ねて行ってほしいと願っています。